

Syllabus Id	Syl-072461
Subject Id	Sub-072007470
作成年月日	2007年3月16日
授業科目名	ドイツ語 (German II)
担当教員名	杉山和子
対象クラス	全工学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択制教室

### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

アジアからヨーロッパにかけて広く分布する印欧語族のゲルマン語族に属するドイツ語は、英語と似た文字体系、文法構造を持ちながらも古い形の文法規則をより多く残すため、英語を学習する学生にとって習得が比較的容易であると同時に、他の言語理解のための道標となりうる。秋の独検4級合格を視野に入れつつ、ドイツ語の初級文法の習熟を深めていく。

### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ドイツ語 (4年次のドイツ語)の範囲の文法知識・語彙

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力

D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力

### 学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成と
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

### 授業目標

1. 独検4級受験に必要な文法事項(初級文法前半・4年次学習部分)・語彙等に習熟し、独検4級の合格ラインに達すること。
2. 独検3級受験に必要な文法事項(初級文法後半)を学び、基本的な文法問題を解けること。
3. ビデオ教材等を通じて会話、聞き取りに慣れ、ドイツの文化に触れる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション 文法(発音)	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明。独検4級の説明。ドイツ語発音・アクセントの規則	
第2~3回	文法復習(動詞)	規則動詞・不規則動詞、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の命令形の復習。独検4級問題	
第4回	文法復習(名詞・冠詞・人称代名)	名詞・冠詞の格変化、名詞の複数形、人称代名詞の復習。独検4級問題	
第5~7回	Lektion7	テキスト。形容詞の語尾変化、形容詞・副詞の比較級・最上級	
第8回	文法復習(前置詞など)	疑問詞、接続詞と構文、前置詞、男性弱変化名詞の復習。独検4級問題	
第9~11回	Lektion8	テキスト。現在完了、動詞の3基本形	
第12回	文法復習(会話)	日常会話表現(ホテル・チケット予約、駅・友だちとの会話など)	
第13~14回	Lektion9	テキスト。過去、受動態	
第15回	前期末試験		×
第16~18回	Lektion10	テキスト。再帰代名詞、再帰動詞、zu不定詞、zu不定句	

第19～21回	文法復習(聞き取り)	日常会話の聞き取り、会話問題、長文問題。長文問題。独検4級問題の演習	
第22～23回	Lektion11	テキスト。関係代名詞	
第24～25回	Lektion12	テキスト。接続法	
第26～27回	総合問題	長文問題、文法問題、聞き取り。独検3級問題の演習	
第28～29回	総合演習	Film鑑賞を通じてドイツ語に触れ、日常会話を聞き取る	
第30回	後期末試験		×

### 課題

出典：授業終了時に小テスト用の単語リスト(10～20)を配布する場合がある。次回までに暗記してくること

提出期限：出題した次の週に小テスト(単語テスト、文法確認)を実施(随時実施)

提出場所：授業開始直後の教室

オフィスアワー：水・木・金曜日(時間は要連絡) 非常勤講師室

### 評価方法と基準

#### 評価方法：

- (1)ドイツ語の文法、語彙を習得したかどうかを定期試験で確認する。
- (2)ドイツ語の単語の知識。文法事項の確認を授業内の小テストで確認する。
- (3)成績不振者については、授業態度(会話、聞き取りへの取り組み)、特別課題レポートを加味して評価。

#### 評価基準：

前期期末試験40～45%、後期期末試験40～45%、課題(授業中小テスト)：10～20%、学生自身による学習・教育目標達成度調査結果：最大10%、授業態度(会話、聞き取りへの取り組み)：最大10%、特別課題レポート：最大10%

教科書等	ハロー・ミュンヘン(関口一郎、白水社) プリント配布
先修科目	ドイツ語
関連サイトのURL	東京ドイツ文化センター <a href="http://www.goethe.de/tokyo">http://www.goethe.de/tokyo</a>
授業アンケートへの対応	黒板へ書く内容、書き方を整理する。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。